昭和53年12月10日発行

広報 かわべ

No. 115

人口の動き

総人口	10,440人(－4)
男	5,160人(±0)
女	5,280人(－4)
世帯数	2,528戸(＋1)
転入	32人(＋14)
転出	30人(±0)

＝11月末住民登録人口より＝
（カッコ内は前月末比）

発行 ／ 岐阜県川辺町 ■ 編集／川辺町役場企画室 ■ 印刷／中部印刷KK



史跡の勉強会　鹿塩婦人会員が文化財巡り

鹿塩地区の婦人会員がこのほど、同地区の史跡巡りを行いました。弁当持参で約20人が参加。　この日は「肩組比翼地蔵」「重ね岩」など八カ所を見学しました。

【写真は史跡を見学する婦人会員ら＝鹿塩地区で】



地震…その時あなたは

わが国は世界有数の地震国であり、昔から地震によって多くの人命が奪われるなど、犠牲者が後を断たない現状です。いかに科学技術が発達しても地震をなくすことは不可能ですが、被害を最少限にとどめることは可能です。過去の地震による被害を振り返ってみるとともに、先人が残してくれた教訓から多くのことを学びとり、私たち一人一人が被害を最少限にとどめる努力を積み重ねていくことが必要でしょう。

大切なふだんの心構え

岐阜県でもたびたび大地震

岐阜県では有史以来、美濃・飛騨両地域ともに、たびたび大きな地震に見舞われています。なかでも明治二十四年に発生した濃尾地震は、内陸型としてはわが国最大の規模で、広範囲にわたって大きな被害を与えています。岐阜県を中心とする中央日本地域は、内陸での地震活動が活発な所で、マグニチュード（用語解説①参照）6―7程度の地震がしばしば発生しています。

このため、震央（用語解説②参照）を中心とする狭い地域ながら被害が多発しています。一方、県南部の平野部では、東海道、南海道沖で起こる海洋型地震による被害も受けています。

県下に被害をもたらした地震は、歴史時代に入ってから、推定を含め六十五回発生しており、そのうち死者が出たものは、推定を含めて内陸型地震によるもの十四回、海洋型地震によるもの八回の計二十二回と考えられています。

グラッときたら気も動転

さて「スワ、地震」というとき、なさねばならぬことと、実際できることとは必ずしも一致しません。いきなり強烈な地震に襲われたとき、人間はどのような行動をとるかをこれまでの調査例からみてみましょう。

【調査例】

◇大分地震　五十年四月二十一日午前二時三十五分（大分県調査）

◇新潟地震　三十九年六月十六日午後一時一分（新潟大学、同県警、警視庁共同調査）

◇えびの地震　四十三年二月二十一日午前八時、十時四十五分

◇伊豆半島沖地震　四十九年五月九日午前八時三十三分（京都大学調査）

【恐怖感】

◇大分地震▽震度（用語解説③参照）5地域＝「かなり怖いと思った」約三〇％「非常に怖いと思った」約五〇％▽同6地域＝「非常に怖いと思った」約六〇％「絶望的になった」約三〇％▽同6・5地域＝「絶望的になった」ほぼ一〇〇％

◇新潟地震▽震度5程度＝「かなり怖かった七〇・七％「生命の危険を思うほど怖かった」二四・

七％

◇えびの地震▽震度6程度＝「生命の危険を感じた」七五・六％　このように、震度5では多くの人が恐怖感を持ち、震度6ともなると生命の危険を感じ、また絶望感を持つようになると思われます。

【行動】

◇大分地震▽震度5地域＝「意識的に行動した」約九〇％「無意識的、本能的に行動した」約一〇％▽同6地域＝「意識的に行動した」約五〇％「無意識的、本能的に行動した」同▽同6・2以上の地域＝「無意識的、本能的に行動した」ほぼ一〇〇％

◇えびの地震▽震度6程度＝「相当あわてた」三〇・八％「大変あわてた」六一・一％

震度6ともなると恐怖感で本能的行動をとり、またあわてる人が相当出ます。

用語解説

①**マグニチュード**　地震の規模を表す単位。各地の震度が一つの地震に対してさまざまな値を示すのに反して、マグニチュードは一つの地震に一つの値で表されます。省略記号「M」。

②**震央**　震源の真上の地表の地点。震源地ともいいます。

③**震度**　ある所での地震動の強さを、主に人体に感じた程度や被害状況などの程度で区分したもので、軟弱な地盤の所ほど大きくなります。また同じ激しさの揺れ方でも、長く続くほど震度は大きくなります。

あわてずに行動を
もし地震が起こったら

地震が起こると、地面が激しく揺れ動き、建物、橋、堤防などが壊れ、火災、水害などが発生するほか、多くの人命が失われる例が多くあります。これらの被害をできるだけ少なくするには、不意に起こった地震に対して、あわてず適切に処置することが大切です。

地震に対して私たちはどのように行動したらよいのか、主なことを挙げてみました。

▽丈夫な家具などに身を寄せる

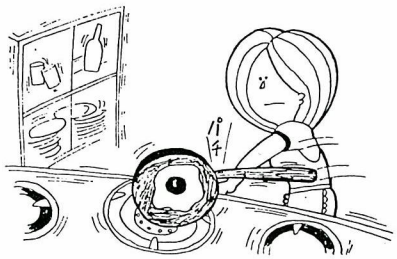
テーブル、机、ベッドなど、地震で倒れる心配のない丈夫な家具に身を寄せて、しばらく様子をみましょう。

▽あわてて戸外に飛び出さない

どんなに大きな地震でも、大揺れは一分といわれています。あわてて外に飛び出すと、落下物などで負傷する危険性が高いので、周囲の状況をよく確かめて落ち着いて行動しましょう。

▽すばやく火の始末

過去の例からみて、大地震で怖いのは火災。地震を感じたらすばやく火の始末をしましょう。



▽火が出たらまず消火

万一出火した場合には、早いうちに火を消すことが大切。大声で隣近所に声を掛け合い、みんなで協力して消火に当たりましょう。

▽避難は徒歩で、持ち物は最少限に

消火、救急活動などの障害になるので自動車は絶対に使わず、必ず徒歩で避難しましょう。持ち物は身軽に行動できるよう最少限にとどめましょう。

▽狭い路地、へい際、がけや川べりに近寄らない

狭い路地、へい際、がけの上やがけ下、石垣のそばなど危険な場所にいるときは急いで離れましょう。

▽山津波、がけ崩れに注意

山際やがけの近くでは、山津波、がけ崩れに注意し、安全な場所へ避難しましょう。

▽余震を恐れず、デマに迷わない

一般的には余震は本震より小さいといわれていますが、余震には十分注意し、沈着な行動をとりましょう。デマに迷わず、役場、消防署、警察署などの指示に従って行動しましょう。

▽秩序を守り、衛生に注意

身勝手な行動をとらず、秩序を守りましょう、伝染病などの発生の恐れがありますから、衛生には十分注意を――。

地震の際、人命の安全を図るためには、これらのことがらを常に念頭に置いて行動する必要があります。特に火災の防止、安全な避難方法や応急救護については、あらかじめ知識を身につけ、資材を準備しておくことが大切です。

万一に備え話し合いを

地震がいつ起こっても家族があわてず行動できるよう、全員で次のようなことを話し合っておきましょう。

▽火元責任者、幼児やお年寄りを避難させる人などを決める。

▽避難場所はどこか、そこへはどの道路を通って行くか、家族が離れ離れになったときの連絡方法。

▽避難するときの持ち物とその点検の時期、方法など。

▽非常持ち出し袋などの置き場所と、それを持って出る人。

火の始末がおろそかに

【火の始末】

◇大分地震▽震度4―6程度＝「火の始末をした」約五〇％▽同6地域＝「大揺れ中は消火不可能」ほぼ一〇〇％

◇新潟地震▽震度5程度＝「火の始末をした」三五・三％「火の始末をしなかった」六四・七％

◇えびの地震▽震度6程度＝「大揺れ中に火の始末をした」一七％「大揺れ後火の始末をした」二八％「火の始末をしなかった」五五％

◇伊豆半島沖地震▽震度5程度＝「大揺れ中に火の始末をした」八％「大揺れ後火の始末をした」四七％「火の始末をしなかった」四五％

案外火の始末はされていないものです。火災経験者は、七七％の人が火の始末をしており、また火の始末の動機は、人に指示されて初めてした人が二〇％近くもありました。

盛大に文化祭

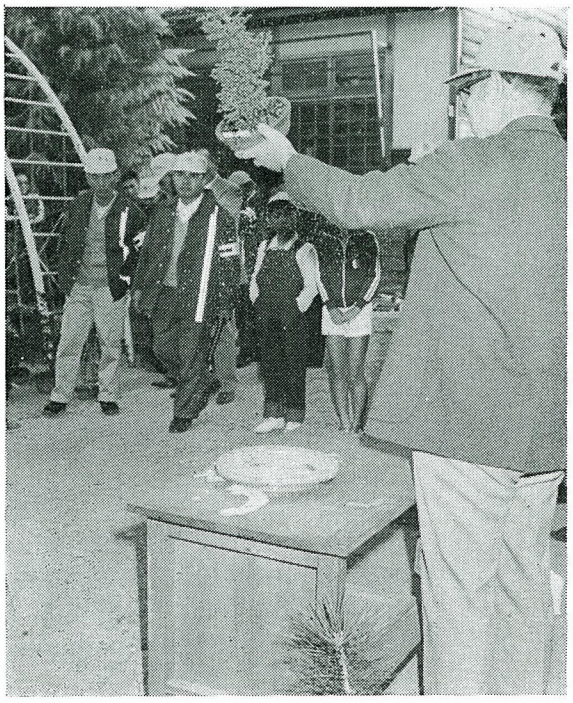
町文化祭が十一月三日から三日間、商工会館など五会場で盛大に開催されました。秋晴れの晴天に誘われて出足も上々。婦人会のチャリティーバザー、芸能大会などが人気を集めました。



今回で五回目の芸能大会。多数の観客でにぎわいました＝中央公民館で



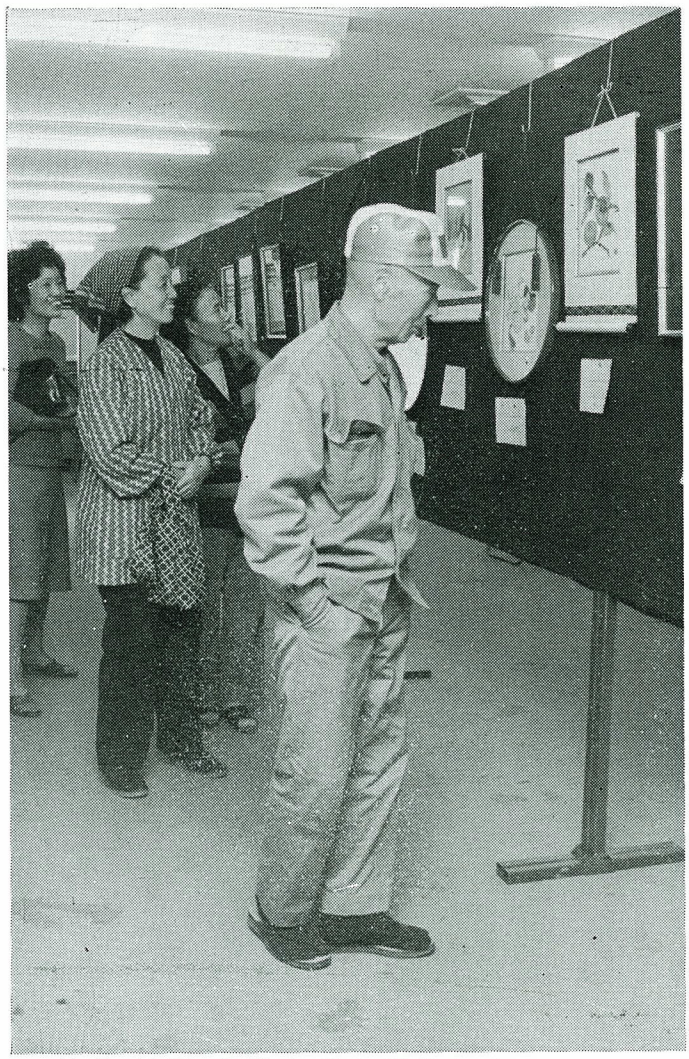
中央公民館では婦人会のチャリティーバザーも。同会はバザーの売り上げ金三万四百五円を町へ寄付しました（円内）



即売会も行われた盆栽展示会＝川辺小学校で



展示作品を見に来た人たちに茶の接待＝第二艇庫会議室で



油絵、写真、書道などが所狭しと並べられた一般展示会場　＝商工会館で



福寿大学生や婦人会員の作品が並んだ生花展　＝第二艇庫会議室で



よりよい食生活を目指して、食生活改善推進連絡協議会がバザーを開催　＝商工会館で

ひとこと



どの作品も水準が高くなったねェ――。すべての作品から静かな流れというか、そういうふん囲気が漂ってくる。〈商工会館の一般展示会場で・道家正一さん(六六)＝中川辺〉

・



いいものがあるという話だったので来たけど、ちょっと遅かったみたい。いいものはみんな売れちゃってました。私はみがき粉とかせっけんなんかを買いました。〈中央公民館のチャリティーバザー会場で・渡辺みさおさん(六〇)＝西栃井〉

・



ことし初めて私も作品を出したんですけど……。皆さんお上手ですねえ。〈第二艇庫会議室の生花会場で・鈴木志満子さん(四四)＝上川辺〉



私も初めての出品です。ほかの人の作品は、さすがに目のつけどころが違いますね。私ももっと勉強していい作品を作らなくちゃあ。〈同会場で・鈴木智子さん(四六)＝上川辺〉

・



盆栽の価値も名前もわからんけど即売会では六はち買いました。展示作品も見ましたが、かなりの年期がいるんでしょうな、いい作品ばかりです。〈川辺小南舎の盆栽展会場で・谷明良さん(五一)＝石神〉

・



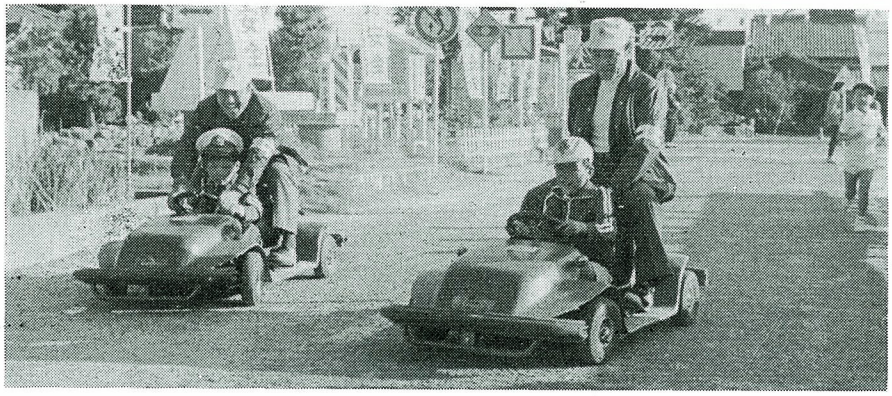
ことしはこんないい会場を提供していただき、ありがたく思っています。来場者も多く、皆さんの食生活に対する関心はかなり高いみたいですね。〈商工会館の食生活改善推進連絡協議会バザー会場で・同協議会長の吉田幸江さん(四六)＝中川辺〉

ふれあいの広場

文化祭の行事の一つとして十一月四日、交通安全をテーマに川辺小学校校庭で「ふれあい広場」が開かれ、二千人近い町民でにぎわいました。



中川辺本町通りをパレードするチビッコ警察官



子供たちの人気をさらったゴーカート



集まった人たちを感心させた警察犬の訓練

思いやりで事故防止を



交通事故は、国民の期待をよそに年々増加の一途をたどっています。これらの減少を図るには車の質的向上や、道路の改良諸設備の整備も大切なことではありますが、車を運転する人、通行する人の心遣いが最も重要な因子ではないでしょうか。

歩行者は運転者が安心して運転できるように、また運転者は歩行者が安心して通行できるようお互いに相手を思い「ゆとり」と「譲り合い」の気持ちをもって通行することが交通事故防止に役立つものと思われます。日常生活において思いやりのある習慣を養うよう努力する人々があれば、危険はずっと減ることと思います。このほど行われました「ふれあい広場」は、大変意義の深いものがありました。

各自の自覚により、お互いに交通安全に気をつけて、幸福で明るい家庭を築きましょう。

〈交通安全協会川辺支部長・小栗美好(宝七)＝比久見〉



美濃加茂高校のバトントワラーが華麗な踊りを披露

文化財に保護標柱

町史編さん室が設置

町史編さん室では文化財保護のため、町内の史跡・埋蔵文化財などに保護標柱を建ててきたが、本年度も新たに十カ所を指定、標柱設置に取りかかった。

今回指定された文化財は次の通り。

【史跡】

▽美濃巡礼二十七番札所麻生寺　この寺は、下麻生上町の真蔵院内にあったが、江戸時代末期に廃寺となった。永正二年（一五〇二）八月、法系は明らかでないが玄正という人の創建で、真言宗京都聖護院の末寺、本尊は如意輪観音菩薩（ぼさつ）。

▽高山代官所川辺役所跡　上川辺は、寛永十六年（一六三九）より幕府直轄領となり、そのため代官所が御座野に置かれた。この役所には、地役人武市半右衛門、白村兵三郎の両名が常駐していたが、享保十四年（一七二九）下川辺へ移転となった。

▽飛騨川石神湊（みなと）跡　江戸時代中期ごろから、近在の諸荷物の輸送は飛騨川を利用する舟によって行われた。下り舟で米、薪炭、茶、生糸などを犬山や笠松へ、上り舟は帆を張り海産物、日用品などを湊まで搬入していた。大正十二年の高山線開通や、昭和十二年の川辺ダム築堤などにより、その影をひそめた。

▽旗本大嶋家菩提（ぼだい）塔　大嶋家菩提塔は、中川辺大円山妙雲寺内にある。この寺は、上川辺天徳にあったものを、慶長十六年（一六一一）徳川幕府の旗本で川辺の領主大嶋茂兵衛光政がこの地に移し、大嶋家の菩提寺とした。明治維新に至るまでの十代の霊位、墓碑、供養塔などが祭られている。

▽矢坂山城址（し）　中川辺の御嶽山と秋葉山を合わせて矢坂山という。御嶽山の頂上には、万年井戸や多くの石積みがみられる。大手、搦手（からめて）本丸、二の丸、三の丸などの曲輪となっていて、東南方向の防備を考えた室町期の山城であるが、城主は〝赤松次郎則村〟との伝承がある。

▽米田城主肥田家菩提塔　比久見東山に、肥田家の子孫が文禄元年（一五五九）虎休山竜洞寺を建立して、肥田家の菩提寺とした。初代肥田兵部少輔忠義、二代肥田河内守忠直、三代肥田玄蕃允義直、四代肥田主水忠政（長寿丸）らの霊位を祭る。

▽美濃巡礼二十八番札所生蓮寺（しょうれんじ）跡　比久見〝桑の木観音〟境内にあって水月山生蓮寺といい真言宗京都聖護院の末寺である。本尊は十一面観音菩薩で、江戸中期ごろ当国三十三所の二十八番札所として多くの人の巡拝があったが、江戸末期に廃寺となった。

▽権現山入会論争顕彰碑　下吉田「星神社」境内に馬場荘八翁の功徳をたたえた顕彰碑がある。

享保のころ、下吉田はじめ十五カ村権現山入会の山林境界につき紛議争論を生じ、村民も困窮の極に達した。義気に富める翁は、てい身このことに尽力し、ついに江戸幕府へ出訴し、争論の明白をなして村方を勝訴に導いた。のち村民が碑を建てて、毎年お祭りを行っている。

【名勝】

▽「鹿塩の湯」湧泉地　この湯は、鹿塩論田にある単純泉にて硫化水素を含み、皮膚病によく効くため湯治に来る人が多かった。その沿革は明らかでないが、春日神社の棟札によると寛永二十年（一六四三）に井戸を掘ったところ、泉を得たとの記録がある。

【天然記念物】

▽重ね岩　鹿塩平曽の山中にある巨岩で、古代信仰の対象物となっていたものである。直径五㍍四方の丸味をもつ火山岩で、いただきに座す。岩のすぐそばに、白山大権現の祠（ほこら）がある。

（町史編さん室　道家正一）

ととしは〝重ね岩〟など10カ所



町内の文化財に建てられる保護標柱＝鹿塩地区で

ことが…

ことしもあとわずか。数々の思い出を残して今まさに暮れようとしています。1978年はどんな年だったのでしょう。ここに1年を振り返ってみました。

待望の上水道通水

鹿塩地区



上水道の通水で水不足も解消＝鹿塩地区で

鹿塩地区に待望の上水道が完成、四月二十二日に通水式が行われました。日照りが続くと井戸枯れが相次ぎ、もらい水に頼っていた人たちを喜ばせました。

同地区はこれまで、全戸が生活用水を井戸水に頼っていました。ところが、土地が岩盤質のため、夏や冬に雨が降らないととたんに井戸が干上がってしまい、その都度町から給水車が出動して急場をしのいできました。特に昨年の水不足はひどく、二、八、十月の三度にわたって渇水騒ぎがありました。

町の上水道工事は、さる四十七年から総事業費約十二億円で開始、同地区の工事は昨年末に着手しました。七千三百余万円の配管工事費を見込み、山楠配水池―第一ポンプ場間千五百㍍に直径二百㍉の給水管を埋め、さらにポンプ場から全戸へ延長三千八百㍍の七十五㍉管を敷設しました。

通水式には地元民ら六十人が出席、消防団員が消火せんにホースをつないで一斉放水を披露しました。

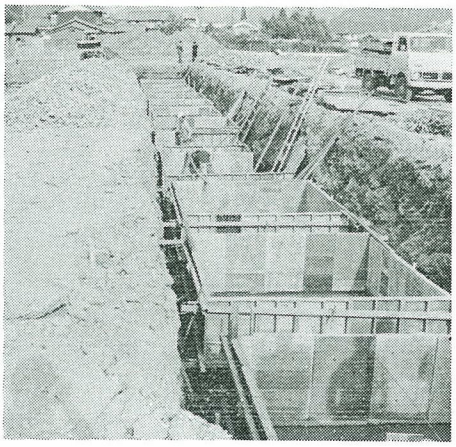
町の上水道事業はことし中にほぼ完了。普及率は七六％です。

統合北小　建設工事スタート

上川辺地区で統合北小学校の建設工事が始まりました。現在は用地造成、道路排水路整備工事と併せて校舎の基礎工事を進めています。同校の開校は、来年九月になる見込み。

統合小学校の建設は十年来の懸案。建設に先立ち町では、五十一年十月から用地交渉を始め、五十二年度までに用地取得費一億四千五百余万円など二億八千七百余万円を投じて、上川辺地区に約二万平方㍍の用地を確保しました。

本年度は、学校建設費として二億八千八百余万円を計上して工事にかかりました。年次計画では、来年一月までに用地造成、道路排水路整備工事を一億二千六百余万円かけて行い、来年七月までに校舎建築工事を行う予定です。建築工事費として本年度は、一億四千八百万円を計上しました。また引き続き五十五年度にはグラウンド造成、プール建設、屋内運動場建築工事などを行う予定です。現在分散して授業を受けている児童が、同校で勉強できるようになるのは来年二学期からの予定。



進む統合北小学校の建設工事＝上川辺地区で

主な出来事

■1月・交安協川辺支部に婦人部誕生。

■2月・北小下麻生分教室を同小上川辺分教室の児童が訪問。一年ぶりの再会を喜ぶ。

■3月・鹿塩に郷土史研究倶楽部（クラブ）誕生。
・農協婦人部短期大学（現農協婦人大学）の学生が、冊子「史外伝承記録・奥の細道」を出版。
・放送タレント天野鎮雄さんが、川辺小講堂で「放送あれこれ」と題して講演。

■4月・野球同好会が下川辺に野球場を造る。
・母子保健推進員が誕生。
・消防団入退団式。
・鹿塩地区で上水道通水式。

■5月・「かわべ議会報」を創刊。
・第二十二回郡消防操法大会。第一分団二部（若井公夫さんら）が三位入賞。
・第四回町長杯争奪野球大会、乱麻クが三年連続優勝。↖

ことしはこんな

野球場造成始まる

山楠公園



始まった野球場の造成工事　＝山楠公園で

町民憩いの場づくりを目指して五十年度から始まった山楠公園建設事業。このほど、計画の中核となる野球場の建設にかかりました。

現在町内で、野球のできるナイター施設があるのは中部中グラウンドだけ。そのため野球チームは、月一回程度しかナイター試合を行うことができない状態です。そこで公園には、ナイター施設を備えた野球場を計画、中部中グラウンドと併せて、これまで以上にナイター試合が楽しめるようにする予定です。

この野球場は、公認規格の球場で、ダッグアウトやファウルポールも備えた本格的なもの。排水施設も完備します。

グラウンド造成、排水などの工事費として八千五百万円、施設設計、用地測量などの委託料として百六十七万円、公園用地購入費、代替用地代として一千四百万円を計上しました。

建設用地の樹木伐採を終え、現在は重機による切り取り、埋め立ての段階。来年三月までに造成を終え、開放は五十五年度になる予定です。

交通安全

交安協に〝婦人部〟

交通安全協会川辺支部（小栗美好支部長）に婦人部が発足、一月二十七日、商工会館で結成式が行われました。子供やお年寄りなど、交通弱者の事故防止を、女性特有のきめ細かい感覚で進めています。

同支部の役員組織は、これまで男性によって占められていました。ところが、支部内の運転免許所有者三千五百余人のうち、五人に一人が女性ドライバー。今後はさらに、その比率が高まることが予想されるところから「役員組織に女性も」と各地区に呼び掛け、役員を選びました。

婦人部では▽街頭での子供とお年寄りに対する個別指導▽交通安全思想の家庭への浸透と交通弱者に対する地道な指導――などを重点に活動しています。

さる七月二十二日と八月五日には、石神地内の国道41号線わきに開設された交通指導所で、男性役員らに交じってドライバーにアイスコーヒーをサービス、交通安全のパンフレットを渡して安全運転を呼び掛けました。



交通指導所で活躍する婦人部員　＝石神地区で

■6月
・第四回女子ソフトボール大会。パンサーズが優勝。
・社会教育視聴覚協議会が発足。
・交通少年団入団式。
・統合北小学校の建設始まる。

■7月
・商工会青年部主催の「川辺おどり」開幕。純益金十五万余円を中部中へ寄付。
・県営川辺漕（そう）艇場にナックルフォア八隻を配備
・臨時議会で収入役に小栗雄太郎氏（中川辺）教育長に矢田元雄氏（鹿塩）を選任。

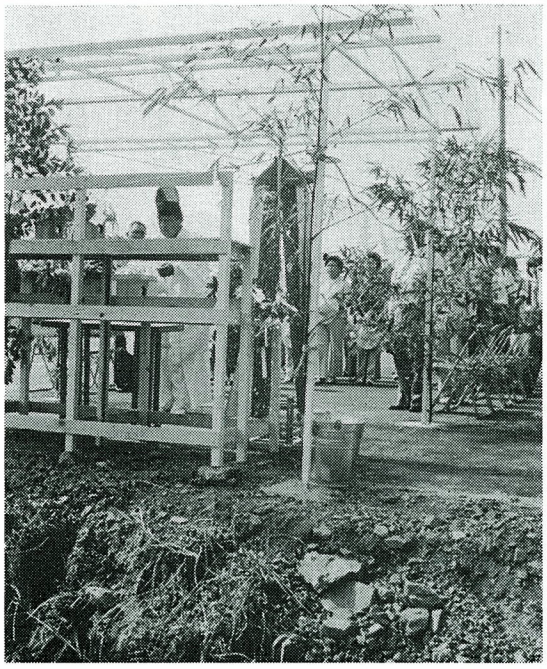
■8月
・「もう事故増えないで」と、国道41号線で交通安全祈願祭。
・川辺小スポーツ少年団野球部「川辺イーグルス」が県大会に五年連続出場。
・川辺小にナイター施設完成。
・子ども会ソフトボール大会。小学生の部で比久見上・下吉田チーム、中学生の部で西栃井チームが優勝。
・第二十回自治会対抗野球大会。下麻生↖

写真で見る この1年

暮れゆく一九七八年。いろんなことがありました。そんな思い出の一場面を、ここに写真で振り返ってみました。



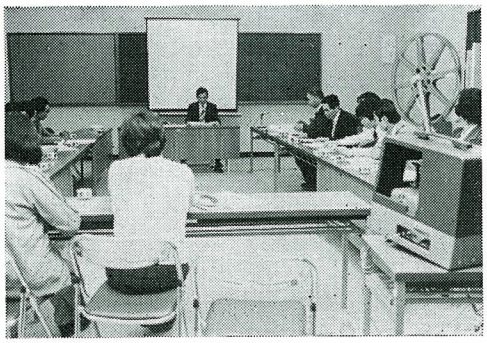
秋晴れの空の下でにぎやかに行われた町民運動会。ことしは下麻生地区が優勝しました



「これ以上事故はたくさん」と、交通安全祈願祭が行われました



母子保健推進員が誕生。乳幼児の健康指導を重点に活動しています

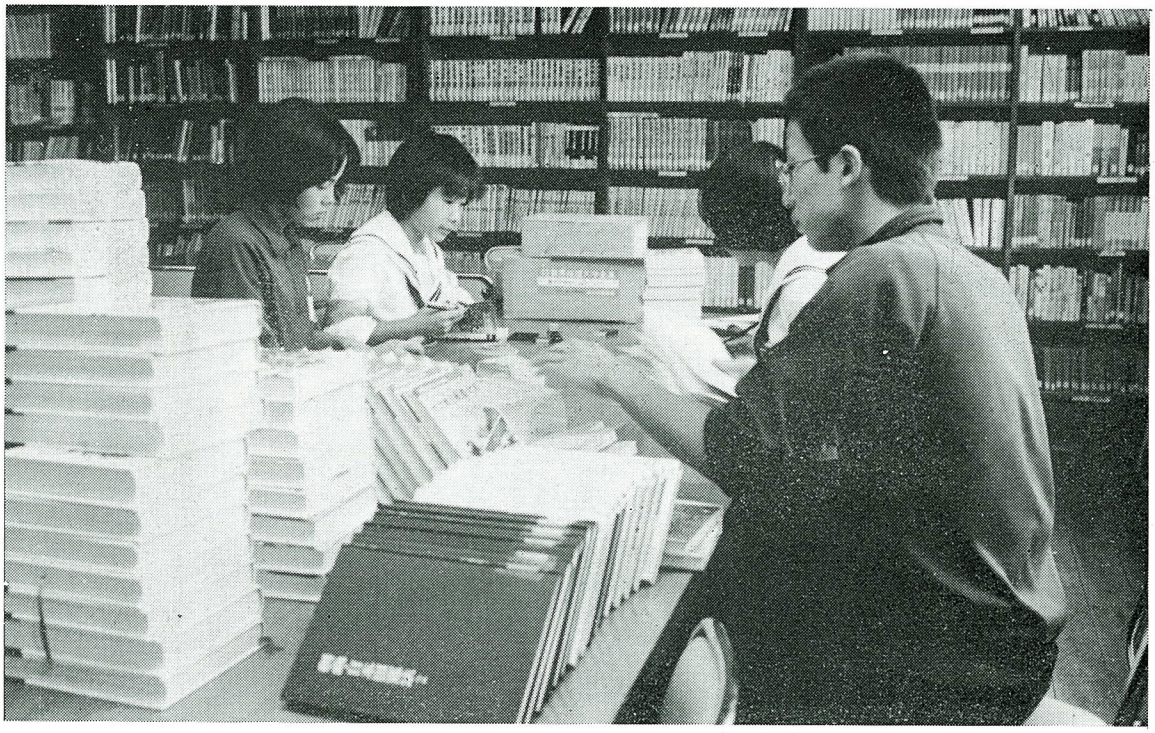


社会教育視聴覚協議会が結成され、写真技術を通した奉仕活動を行っています

■9月
・委託炊飯方式による米飯給食を開始。
・中日旗争奪野球大会。加茂クが初優勝。
・第一回郡卓球大会。所正仁さん（比久見）が優勝。
・定例議会。議長に遠藤稔氏。副議長に佐伯春雄氏を選任。

■10月
・第六回卓球大会。井戸英行さんらが優勝。
・第八回町民運動会。下麻生地区が優勝。
・郡社会福祉大会で高井久五郎さん（比久見）を表彰。

■11月
・秋の叙勲で、元町長・有本九十九氏（下川辺）に勲六等単光旭日章。
・文化祭を開催。「秋のふれあい広場」がにぎわう。
・第十八回可茂公衆衛生大会で、交告米一さん（石神）と町青年協議会（武田恵治会長）を表彰。
・県消防大会で前島智則さん（下麻生）岩井一夫さん（同）平岩求さん（中川辺）横田文夫さん（鹿塩）↖Aが優勝。



商工会青年部が「川辺おどり」の収益金を中部中へ寄付。同中では図書を購入して同部の好意にこたえました



放送タレントの〝アマチン〟こと天野鎮雄さんが来町。川辺小講堂で「放送あれこれ」と題して講演しました



川辺小にナイター施設完成。ママさんソフトボールの試合でにぎわいました

を表彰。町消防団に表彰旗。

・健康管理優良家庭として肥田正さん（比久見）一家を表彰。

・県社会福祉大会で篠田富子さん（中川辺）木沢ゆき子さん（鹿塩）藤掛みち子さん（西栃井）を表彰。

・第一回中日杯ソフトボール大会。「スマイル」が優勝。

・第六回年代別マラソン大会。

・オリエンテーリング大会。

・国民健康保険法施行四十周年記念式典で遠藤稔さん（中川辺）を表彰。

・県下中学校優勝弁論大会で中部中が最優秀校に。個人では肥田三重子さん（三年）＝比久見＝が最優秀賞。長谷川佳宣君（同）＝下川辺＝が優秀賞。

・第四回郡卓球大会混合団体の部で川辺町が優勝。シングルスで小田豊美さんが優勝したほか、渡辺吉康さん、佐伯典子さん、奥野嘉子さん、早川和子さん、中川芳康さんらが入賞。

注意！ 年末・年始の 事故・犯罪

飲酒運転は禁物

年末年始はお酒の好きな人、きらいな人を問わず、お酒を飲む機会が増えてきます。それに連れて毎年この時期には、飲酒運転が原因の交通事故も増加しています。飲酒運転は、スピードの出し過ぎやわき見運転と並んで、死亡事故の大きな原因となっています。

今月から施行されている道路交通法では、酒酔い運転の点数が十五点に引き上げられ、一度酒酔い運転で検挙されると、免許証は直ちに取り消し処分になります。忙しいときに免許取り消しでは仕事になりません。飲酒運転は絶対しないよう、みんなで気をつけましょう。



酒酔い運転の多い時期 乗るなら飲ますな

予測、判断能力が減退

アルコールは人間の肉体的、精神的機能に極めて大きな影響を与えます。科学警察研究所の研究によると、アルコールによる人間の生理的、心理的変化の要点は▽自己の能力を過大評価する▽運動機能が活発になり、粗雑となる▽視覚能力が鈍くなる▽注意配分がまずく、特定の場所に集中してしまう――などになっています。

アルコールは、安全運転の絶対条件である予測、判断などの危険回避能力はもちろん、運動操作能力も減退させてしまいます。ところが運転者は「スムーズに運転できる」と錯覚を起こすところから、飲酒運転は重大事故を起こす恐れの最も高い違反といえるでしょう。

飲酒運転の動機、目的は…

危険な飲酒運転は、なぜなくならないのでしょう。飲酒運転の動機、目的についての調査によると、動機については①あまり酔っていないのでよいと思った②酔った勢いで②あすの仕事に行くのに下便だから④飲酒量が少ないのでよいと思った⑤一休みしたのでよいと思った――の順となっています。

また目的は①帰宅するため②友人を送るため③ドライブ④他の店へ飲みに⑤友人宅訪問のため――の順となっています。

酒を出されても断る勇気を

飲酒運転を防ぐ第一の対策は、運転者一人一人がアルコールの恐ろしさを十分認識し「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」の鉄則を厳守することです。酒を飲んだときは、必ず他の交通機関を利用することを習慣づけることが必要です。

また運転しなければならないときに酒を出されたら、これを断る勇気が大切です。あらかじめ酒を飲むことがわかっている場合には、自分で運転して出かけない習慣を身につけることです。

怖い周囲の安易な考え

第二は、家族をはじめ運転者の周囲の人が「運転者には飲ませない、酒を飲んだら乗せない」ことを徹底することです。最も悪いのは、周囲の人の「ちょっとぐらいなら」といった考え「酒を飲んでも休めばよい」といった安易な考えです。みんなで「飲ませない、乗らせない」ことを実行するようにしましょう。

運転はあせらず

あわただしい師走、心浮き浮きする年の初め――。ぜひともこの期間を無事故で過ごしたいものです。特にこの時期は積雪、凍結などで道路の状態が悪くなるほか、心も落ち着かず、なにかと外出も多くなるなど、周りは交通事故の危険がいっぱいです。ドライバーの皆さん、次のことを必ず守って下さい。

自動車運転中の急ぎとあせりは、どうしても運転に無理が出たり、突然現れる危険を見落としたり、避けられなかったりします。

安全運転の基本は、危険があっても発見できて、直ちに避けられるように、急がずあせらず、ゆっくりと運転することです。

急な飛び出しに注意を

自動車はヒーターをいれてポッカポカですが、歩行者や自転車乗りは寒さに震えて家路を急ぎます。また夕方のラッシュ時は夕暮れと重なり、お互いに急ぐ気持ちもあって、事故の危険はより増してきます。

冬の自動車の運転は、目をさらのようにし、路地や自動車の陰、渋滞車両の間などからの歩行者や自転車乗りの飛び出しに備えた運転に心掛ける必要があります。

積雪時は滑り止めの備えを

カーブや下り坂などに「凍結スリップ注意」の看板がありますが、あれは見かけだけではありません。路面の凍結と積雪は自動車の大敵で、ハンドル操作やブレーキの効果を著しく悪くします。

まず自動車にチェーンやスノータイヤなどの滑り止めの備えをして下さい。そして「スピードを落とす」「急ハンドルや急ブレーキ、急発進、急加速をしない」などの運転技術を身につけることです。路面が凍りやすい橋の上、日影、水が路面に流れ出ているところなどには特に注意しましょう。

シートベルトを必ず締めて

シートベルトは、事故の危険が多い冬に、運転手の気持ちを引き締めて安全運転の手助けをします。そればかりではなく、もし事故に遭っても、運転者はもとより同乗者の体を支え、けがをなくしたり軽くする実に頼りになるものです。車に乗るときは、シートベルトを必ず締めて、安全運転の模範を示して下さい。

隣近所で犯罪防止

年末は一年の締めくくりの時期。ふだんより多くのお金が動くところをねらって、毎年いろいろな犯罪が多発しています。

警察では、こうした年末の犯罪を防ぐため、多数の警察官を動員して年末特別警戒を行います。皆さんも被害に遭わないよう心掛け、隣近所ががっちり手を取り合って犯罪を防ぎ、明るい新年を迎えて下さい。

遠回りでも明るい道を

最近のひったくりは、自動車やバイク、自転車などを使い、擦れ違い際のアッという間に金品を奪って逃走する手口が多くなっています。これを防ぐために次のことに気をつけて下さい。

▽大金を運ぶときは、二人以上の男子で、なるべく自動車を利用する。

▽暗くて人通りの少ない夜道は避け、遠回りをしても明るい道を利用する。

▽ハンドバッグなどは、車の通る反対側の腕にしっかり抱えて持つ。

▽だれかに後をつけられていないか常に周囲に気を配り、危険を感じたらすぐ、近くの人に助けを求める。

外出時は戸締まり忘れずに

午後二時―五時までの間は、空き巣の一番の稼ぎ時です。

▽家を留守にするときは、必ず戸締まりをして、隣近所へ声を掛けてから出かける。

▽余分な現金は金融機関へ預ける。預金通帳と印鑑は別々に保管する。

▽万一被害に遭ったときは、現場をそのままにして警察へ届ける。犯人がまだ近くにいると思われるときは、一刻も早く一一〇番する。



混み合う所にはスリの目が

年末大売り出しの呼び声を聞くと、ボーナスを懐に自然に足が街に向きます。買い物客でごった返すデパート、百貨店などで品選びに夢中――こんなときがスリにとっては最大のチャンスなのです。

▽余分なお金は持たないようにし、買い物かごの中などには財布を入れないようにする。

▽大金と小銭は別々にして持ち、大金ははだ身につけておく。

▽不自然に体を寄せる者はないか、など常に周囲の人に気を配る。

▽乗り物では中ほどに乗り込むようにする。乗り降りするときには特に懐中物に気をつける。

まち歩き

われら健康家族

肥田さん一家を優良表彰

県民百歳運動推進本部と同協議会は十一月八日、美濃加茂市太田町、加茂県事務所で、比久見の肥田正さん一家を健康管理優良家庭として表彰しました。

肥田さん一家は、健康管理に深い理解を示し、食生活の改善とスポーツ活動によって家族の健康増進を図り、着々とその成果を上げています。

同家の家族は次の通り。（敬称略）

▽肥田正(四二)＝地元野球クラブ新興チームの監督として活躍。ゴルフ、スキーなども得意。地域の体育行事のリーダーとして、各種スポーツ活動に積極的に参加。

▽幹子(四一)＝食生活改善推進委員。母子健康推進委員として活躍、住民の信望も厚い。

▽志津を(三六)＝乳幼児の健康相談を積極的に実施、その指導は親切で、高く評価されている。

▽伸(一六・加茂高一年)弥生(一四・中部中二年)佳奈(一三・上米田小六年)＝食事の好ききらいがなく、健康そのもの。スポーツマン。



表彰された肥田さん一家。左から幹子さん生弥さん、佳奈さん、伸君、志津をさん、（円内は正さん）

「スマイル」チームが優勝

中日杯女子ソフト大会

第一回中日杯女子ソフトボール大会が十一月十二日、川辺小学校校庭で行われました。大会には十二チームが参加、熱戦の結果、スマイルチームが優勝しました。

二位以下の成績は次の通り。

②観音③アトムズ、新興

▽一回戦
フラワーズ13―3下麻生、アトムズ10―0リリーズ、新興11―7エンジェルス、観音22―3クローバーズ

▽二回戦
スマイル6―5フラワーズ、アトムズ6―5パンサーズ、新興15―4鹿塩、観音15―8上川辺

▽準決勝
スマイル8―7アトムズ、観音14―12新興

▽決勝スマイル10―2観音



優勝したスマイルチーム

ミニ・ニュース

表彰

◇第28回県社会福祉大会　11月6日に岐阜市民会館で。表彰状、感謝状を受けたのは次の皆さん。（敬称略）

【県社会福祉協議会会長表彰】

▽社会福祉施設優良職員　木沢ゆき子（鹿塩）藤掛みち子（西栃井）篠田富子（中川辺）【県共同募金会長感謝状】▽優良支分会　県共同募金会加茂支会川辺分会

◇郡社会福祉大会　このほど八百津町、中央公民館で。高井久五郎さん(七五)＝比久見＝を表彰。

◇消防功労者　11月1日に各務原市民会館で開かれた県消防大会で次の皆さんを表彰。（敬称略）

【知事表彰】◇功労章▽消防団員　前島智則（下麻生）岩井一夫（同）【協会長表彰】◇特別感謝状▽表彰旗　町消防団▽功績章　平岩求（中川辺）横田文夫（鹿塩）

◇第18回可茂公衆衛生大会　11月19日に美濃加茂市農協会館で。交告米一さん(六六)＝石神＝と町青年協議会（武田恵治会長）を表彰。

◇県統計功労者　このほど県庁大会議室で表彰式。林靖子さん(三六)＝上川辺＝に知事表彰。

◇国民健康保険法施行40周年記念式典　このほど岐阜市、岐

まちみど

有本九十九氏に勲六等

町発展と住民福祉に尽力



有本九十九氏

このほど行われた秋の叙勲で、元川辺町長有本九十九氏(七七)＝下川辺＝が、勲六等単光旭日章を受けられました。

同氏は、三十四年九月、町会議員に初当選以来、十四年の長期にわたって議員として、また四十八年から四年間は町長として、町発展と住民福祉の向上に尽くされました。

楽しく交歓会

第二保育園児と七宗の子ら

第二保育園へ十一月十日、七宗町の保育園児らが訪れ、交歓会で楽しいひとときを過ごしました。同保育園を訪れたのは、七宗第一保育園の園児ら百十八人。「町外の保育園児との交流によって視野を広めさせよう」という七宗側の希望を受けて行われたものです。

園外散歩、リレー競技、フォークダンス、綱引きなどと、行事も盛りだくさん。第一保育園児との交歓は何度でも経験したことのある第二保育園児も、町外保育園との交歓会は初めて。最初はとまどい気味だった園児らも次第に打ち解け、一緒に歌を歌うなど、楽しく過ごしました。

家族コース優勝は池田さん一家

オリエンテーリング大会

オリエンテーリング川辺大会が十一月十九日、福島・下飯田地内で行われました。今回は家族コース(六ポイント)に十六チーム、一般コース(九ポイント)に二十一チームが参加して健脚を競いました。

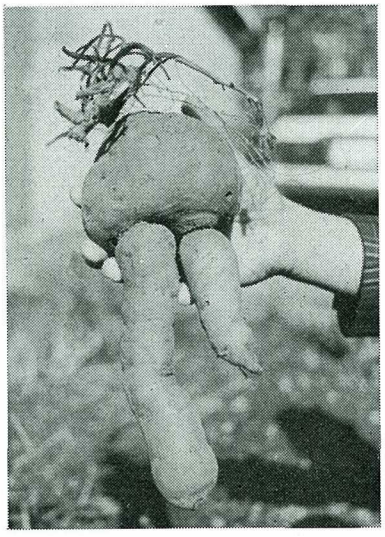
成績は次の通り。(敬称略)

【家族コース】①池田承徹、尚子、靖55分24秒②谷川裕二、有本伸太、宮坂隆広、井戸禎文、吉田孝弘③佐伯五生、頼子、素子、博④熊田由美子、浩二、山田美和、加藤優子、田原直已⑤佐伯雅彦、石井久幸、篠田重道、加藤和久、佐伯幹典⑥都勝、償辞、勝巳

【一般コース】①馬場美津信、有本幸児、日下部勝彦、高井敦志1時間8分46秒②渡辺正人、有本靖、嶺川靖典、西垣達也③安江真人、桑田晃浩、渡辺章司、山田武彦④加藤強、山田和則、松岡泰成、山田浩已⑤矢田元雄、桑畑康彦、船戸進⑥矢島健二、紅谷隆幸、木下尚司、馬場満、遠藤典彦

これは変わったサツマイモ

まるで火星人みたい



変わり種のサツマイモ

タコか、はたまた火星人か――このほど役場へ持ち込まれた変わり種のサツマイモの話。

このサツマイモが穫れたのは、石神の桜井道夫さん(五六)の畑。三十㌢ほどの高さで、長さの違う二本の〝足〟がニョッキリ。海にいるタコかSF小説に登場する火星人を連想させます。

【写真は二本の〝足〟を持った

ミニ・ニュース

スポーツ

◇第6回年代別マラソン大会 11月12日に中電―山川橋周回コースで。一位は次の皆さん。(敬称略)＝町外の部は省略＝

【十、二十代男子】橋本信幸【三十代同】渡辺敏信【四十代同】長尾諭【五十代以上同】土谷源良【中学生同】山田博愛【小学生】鶴田裕幸【女子】熊崎幸

◇バレーボール・リーグ戦 このほど中部中体育館で。成績は次の通り。

①石神②比久見A③一般女子④下川辺⑤中川辺下⑥比久見B⑦上川辺⑧西栃井⑨中川辺上⑩福島

◇第6回町卓球大会 10月22日、中部中体育館で。結果は次の通り。

【混合団体】①下麻生②中川辺上③上川辺、下川辺【家庭婦人同】①下麻生②石神③中川辺下、上川辺【一般男子】①井戸英行②赤塚実③佐伯五生、橋詰良蔵【一般女子】①水野千足②金沢悦子③早川和子、竹内恵美子【中学生男子】①坪内隆②井戸冷二③加藤強、所好宏

寄付

◇中部中へミシン中川辺の水野完爾さん(四二)はこのほど、中部中学校へ「家庭科用の教材に使って下さい」と、ミシン一台を寄付。

阜産業会館で。遠藤稔さん(五四)＝中川辺＝に知事表彰。

短歌とともに30年

名古屋文学祭にも入賞

下麻生の前島さん

「肌に触れし　ぬくみにあらぬ骨上げの　父の骨つぼ抱けばぬくし」――このほど行われた第二十九回名古屋短詩型文学祭の短歌部門で、前島一代さん(五二)＝下麻生＝がFM愛知賞を受けた作品がこれ。ことし七月、父親実さんを亡くしたときの心情を歌に託したものです。

五十一年に初めて同文学祭に川柳を応募、佳作入選したのに続いての入賞にも「ほんとにまぐれなんです」と、本人はいたって控えめ。

前島さんと短歌のつき合いは長く、下麻生小学校高等科二年のころから。もう三十年以上にもなります。同校の校長先生が短歌が好きで、その影響を受けたとか。十七歳のころに同地区の短歌会「麻の芽会」に入会、同時に名古屋の同人雑誌にも参加して、本格的に短歌の勉強を始められました。

その後同会が、やはり同地区の「麻の葉会」（代表・村瀬雅一さん）に吸収されてからも、同会に移って作歌に励まれ、今日に至っています。

先生についたこともなく全くの独学。ふだんの生活の中で、思いついたときに書きためた歌は、もう数え切れないほど。「腕試しに」と、新聞などにも応募、何度も入選してみえます。

今後もコツコツと〝生活の歌〟を詠み続けていかれることでしょう。



「ほんとにまぐれなんです」と、名古屋文学祭入賞の感想を語る前島一代さん＝下麻生の自宅で

健康のしおり

食中毒のはなし

よく洗い、熱を通して

今ごろ時期はずれな、という感がしないでもないですが、最近コレラ、集団食中毒が相次いで発生していますので、食中毒について少し述べてみましょう。

食中毒の原因は、細菌によるものが八六%、動植物中の自然毒によるものが一三%、食品添加物その他の化学物質によるものが一%――の割合で発生しています。

食中毒の原因菌の一位は腸炎ビブリオ、二位はブドウ球菌、三位はサルモネラです。

【腸炎ビブリオ中毒】

特徴　①三―四%の塩水の中でよく繁殖する。そのため七―九月の海産物にこの菌が発見される。

②この菌が発育するには塩分が必要なため、真水で洗えばすぐ死滅する。

③体内に侵入すると、胃ケイレンや虫垂炎のような痛みで始まり、激しい下痢、血便を出し、赤痢と間違えられることがある。

予防　①魚介類は、必ず真水で十分洗って冷蔵庫に入れる。

②海産物を切ったマナイタ、包丁は必ず真水で洗う。

③魚介類を握った手で他の食品を握らない。

④食中毒の発生しやすい時期には、必ず熱を通して食べる。

【ブドウ球菌中毒】

この菌は化のう菌で、至る所にいます。

特徴　①加熱しても毒素は残る。

②三時間ぐらいで下痢、腹痛、嘔吐（おうと）を起こし、数時間で治る。中毒では最も軽いといわれている。

予防　①食品の汚染を防ぐ。

②調理したものは速やかに食べる。

③すぐ食べられないときは、冷蔵庫に入れて菌の繁殖を抑える。（ただし冷蔵庫の過信は禁物）

【サルモネラ中毒】

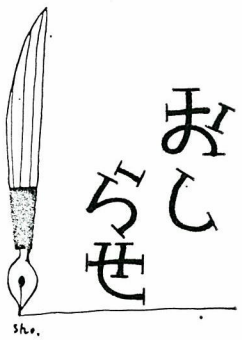
特徴　①輸入肉、鶏肉、卵、最近では川、土壌に発見される。

②熱に弱い。

③症状は下痢、腹痛、嘔吐、発熱で数日で回復する。

予防　①熱を十分通す。

おしらせ



税

青色申告のお勧め

自分で納得のいく申告と納税をするには、青色申告が一番です。まだしていない方は、思い切って始めてみましょう。

青色申告にはいろいろな特典があり、節税にもなるほか、企業経営の合理化にも役立ちます。始めるに当たって、記帳方法などに心配の方も多いと思いますが、別に難しい帳簿をつけるわけではなく、やさしい簡易帳簿でよいのです。

詳しいことは、町商工会か税務署でご相談下さい。

公給領収証を受け取りましょう

「料理飲食等消費税」は、皆さんが料理店、バー、飲食店、旅館などを利用したときにかかる県税で、県の重要な財源となっています。この税金は、料金支払いの際に、店の経営者が皆さんからいったん預かって、毎月まとめて県に納税する仕組みになっています。そして店の経営者は、この税金を預かったしるしに、必ず公給領収証を発行することになっています。

県では、十二月中を「公給領収証交付・受領強調月間」として、皆さんの協力をお願いしています。公給領収証の発行が義務づけられているのは、次のような場合です。

▽旅館　一人一泊の料金（規定料金）が四千円を超える場合（宿泊以外の利用行為＝遊興を伴う場合は除く＝は、一人一回二千円を超える場合）▽飲食店　一人一回の飲料料金が二千円を超える場合▽カフェー、バー・キャバレー　すべての利用料金▽料理店・貸し席　同

スイコのくらしと税金

＜東海テレビ・毎週土曜日午前7時45分―8時＞

■12月16日　マイカーと税金＝自動車にかかる税金とその使われ方■同23日　相続税、妻の場合は…＝相続税の仕組みと配偶者の税額軽減■同30日　生活をきれいに＝清掃事業、ゴミ処理施設に使われている税金を紹介■54年1月6日　レジャーと税金＝旅行、ゴルフなどに関係のある料理飲食等消費税や、ゴルフ会員権の譲渡にかかる税金

郵便局

年末の郵便物は早めに

毎年十二月になると、小包や年賀状など大量の郵便物を引き受けますので、郵便局は大変忙しくなります。郵便を利用されるときは、特に次の点についてご協力をお願いします。

◉小包郵便物

一、十二月十五日までに

十二月にはお歳暮を中心として、ふだんの約二倍の小包が出されます。十二月半ばを過ぎて出されますと、年賀状の処理とも重なりますので、早めに準備し、遅くとも十五日までにはお出し下さい。

二、包装はしっかりと

小包の包装は十分したつもりでも、運送の途中で壊れたり、中身が抜け落ちたり、液体がしみ出て他の小包を汚したりすることがあります。小包を作るときは、段ボール箱や丈夫な包装紙を使い、しっかりとひもを掛けて下さい。

三、小包にも郵便番号を

小包の区分けもすべて郵便番号で行っています。小包区分機はもちろんのこと、人手による区分けの場合でも、郵便番号で能率的に配達局へ送ることができます。小包にもその表面右上にあて先の郵便番号を大きくはっきりとお書き下さい。

◉年賀状

一、十二月二十日までに

あわただしい年末の年賀状書きはとかく遅れがちです。ことしも十二月十五日から年賀状の引き受けを始めますが、元旦に先方へお届けするために、遅くとも二十日までにお出し下さい。

二、年賀状にも郵便番号を

郵便局では、大量の年賀状を扱うため設備を拡充するほか、たくさんの学生アルバイトを採用しますが、この期間特に威力を発揮するのが郵便番号です。郵便番号は正しくはっきりと、またあなたの郵便番号も忘れずお書き下さい。

三、あて名は詳しく正確に

あて名が詳しく正確に書かれていないため、調査をしても配達できない年賀状が、毎年非常にたくさんあります。このような迷子年賀状をなくすために、あて名は丁目、番地まで詳しく正確にお書き下さい。

四、あらかじめ方面別に区分けを

年賀状をお出しになるときは、町内あて、県内あて、県外あてなどにあらかじめ区分けをし、その旨書いた付せんを付けて束ねてお出し下さい。

五、「年賀」の表示を

お年玉つき年賀はがき以外のはがきで年賀状をお出しになる場合は、表面の見やすいところに「年賀」と朱記して下さい。

繰り上げ請求もできます

国民年金

国民年金の老齢年金は、六十五歳から支給されますが、六十歳までに老齢年金の資格要件を満たしていれば、六十―六十四歳までの間なら、支給開始時期を繰り上げて、いつでも希望したときから受けられます。

しかし、その年金額は、受給を希望した年齢に応じて、六十五歳から受ける本来の老齢年金額から一定の割合で減額され、六十五歳以後もそのままの年金額が支給されますので、くれぐれもご注意下さい。

これとは反対に、六十五―七十歳までの間に、繰り下げて受給を希望した場合は、年齢に応じて年金額が増額されます。

相談

心配ごと相談

次の通り心配ごと相談を行います。悩みのある方は気軽にお出かけ下さい。

◇日時　12月20日午前9時―12時

◇場所　役場会議室

町史編さん室だより



―― その38 ――

能古山入会論争考(六)

宝永四年（一七〇七）九月十三日、石神・中之番・栃井・下川辺四カ村は、評定所へ呼び出しとなり、事前聴取が行われた。

評定所とは幕府の最高機関で、老中および三奉行（勘定・寺社・町奉行）の合議によって、訴訟などが決せられる場所であり、現在の最高裁判所にあたる。その後上川辺・鹿塩両村の呼び出しもあったものと思われるが、明らかでない。この日以降六カ村の代表は、評定所提出用の絵図について、相互に協議を重ねていった。しかし図面上の境界線引きについては、合意を得ることができなかったと記載されている。

九月二十四日幕府評定所は四カ村の呼び出しを行い、続いて翌二十五日には二カ村も出頭した。いわば評定所での対決である。

当日の相方の言い分は、能古山全山が入会共有を主張する四カ村、峰近くの一里四方をそれとする二カ村が激しく対立した。この席には川浦村も同席していたが発言の機会がなかったようである。

絵図と口上書に現れている地名は次のようになっている。

水無瀬地蔵峠・石神用水路・日西洞・神坂洞・鹿塩洞・奥山洞

口上書にはこの小字（あざ）を中心として林立ちの様子、境界線などが詳細に記載され、絵図にも付札が添付して説明してあった。

入会評定は結論が出ないまま、この日は終わったが、この問題をどう審議すべきか、幕府側としても相当困惑したことであろう。対立している六カ村双方に、幕領地・旗本領があって、いずれも幕閣に利害のある村落となっていたからである。

九月二十九日幕府は、中之番村の代表惣兵衛の病状を尋ね、医師菊田道甫を遣わしている。幕府として異例の見舞いであり、このとき惣兵衛の病気は、既に相当進んでいたと推定されるが、病名の記載はない。

十月四日新たに中之番村から助十郎が江戸に到着している。そして江戸滞在日記は、翌五日朝六つ（六時）と、夜五つ（八時）に地震と報じ、宝永富士山噴火の前兆を伝えている。

（木下　尚年）

くらしの百知識

◇通信販売…新聞、雑誌、チラシ、パンフレット、カタログなどで商品の広告をし、郵便や電話などで消費者から申し込みを受けて販売する方法です■信用ある販売業者を…お金を送ったのに品物が届かない、広告された商品と異なる商品が届いた、価格が広告の表示より高い、などの苦情がよく聞かれます。信用ある販売業者を選ぶことが大切です■注文しないのに商品が届いたら…届いた日から三カ月経過すると、業者は品物の返還請求権を失います。消費者は、送り返す必要も代金を支払う必要もありません。

わたしたちの作品

友のくれし苺の苗を枯さじと
いたわりつ植うる夕映えの畑　佐伯　陽子

子の原の空を吹きゆく風清し
みにくきもののひとかけらもなく長瀬宗子

事故現場におりおりの花供えあり
今朝のほほずき黙して朱し　山田　君子

圃場整備と耕作されぬ田も畑も
秋風の中草の穂満つ　神田　繁子

絮ひとつふかれ来たるを土の掌に
うけとめんとす夕陽の中に　岩井三千代

わが胸に描きし像とうらはらに
素朴さうれし外孫芸大生　牧田たまえ

山峡に炸烈音がこだまして
汗と油と火薬が匂ふ　佐合　武

無事故にて列車牽き終ゆ夕餉時
家族と語らう酒歯にしみぬ　紅谷　茂

すねた子の補導むつかしあやいとの
むすぼれとけぬ心いとほし　佐伯久治郎

○休日の野良のノルマは厳しくて
落ちる秋陽のなお強く射す　井戸　正二

○六十路超す今百米走に入賞の
我が幸思い運動場に佇つ　渡辺　節夫

○万人の平和の願い背に負いて
原爆の像掌を高く挙ぐ　村瀬　雅一

○多くなる仕事の量に負けまいと
気合を入れてレコーダーを押す前島政平

○バスを待つ足に枯葉をまとわせて
秋風ひそと通り過ぎゆく　前島　一代

○渦潮の鳴戸の海に現実の
姿となりし夢のかけ橋　丹羽　房代

○音もなく黒き川面のさざ波に
月光ゆれて秋深みゆく　井戸　孝子

○一束の花によろずの願いこめ
旅立つ吾娘のはなむけとせり小島みき子

○手を振れば蕎麦の花咲く山畑を
見え隠れして老母はおり来る　垣下博子

おめでた　おくやみ

（十月中の届け出）

〔出生〕

上川辺　長谷川浩樹　忠彦　三男
西栃井　遠藤　裕子　春雄　長女
下吉田　武市　知子　鋼二　長女
比久見　加藤　由佳　茂則　長女
福島　坂崎　朋子　芳範　長女
〃　小栗　克幸　信義　長男
下飯田　田原　恵美　薫　二女

〔結婚〕

本巣郡穂積町　松野　勝彦＝上川辺　江口　明美
兵庫県西宮市　佐伯　栄一＝下麻生　小島　洋子
可児郡可児町　酒向　敏彦＝比久見　小栗　千穂
上川辺　中島　久男＝美濃市　後藤　愛子
下川辺　座間　晃＝美濃市　小本恵利子
上川辺　則武　喜久夫＝関市　長谷部慶子
比久見　西垣　清＝八百津町　長谷川　美恵子
名古屋市　佐藤　満＝中川辺　佐藤　幸子
下麻生　村瀬　隆男＝関市　森藤雅子

〔死亡〕

下麻生　小田婦み江　85歳
上川辺　市原くわの　84〃
石神　加藤　咲子　28〃
鹿塩　加藤を千代　77〃
中川辺　山田　かね　82〃
比久見　山田満佐江　79〃
下飯田　村上　武　55〃